



◆卒業生に聞いてみた

—なぜ福祉科に入学したの？
「神奈川県でも数少ない福祉系高校で介護福祉士国家試験の合格率が非常に高く、卒業後には安定して就職出来ると思ったからです」
—福祉科に入って成長できたことは？
「小論文やレポートで使える文章力です。中学校では少なかった文章を書くということが急に増えました」
—苦手だった？
「本を読むことが嫌いで(笑)小・中学校時代の先生に国語が課題と言われてきました。ですが、福祉科でたくさん文章を書いたため文章力はアップしたと思います」

—福祉科に入って苦労したことは？
「専門的な技術の習得です。もちろん学校で練習はしますがいざ現場で利用者を相手にすると学校で出来ていたことが出来なくなったり...」
—克服のためにしたことは？
「一回の実習が最大2週間なので、反省と実践を繰り返し行いました」
—福祉科の活動以外で頑張っていたことは？
「生徒会活動です。元々、学校行事に関わりたいこともあり生徒会を選びました」

—福祉科での勉強との両立には苦労もあったと思いますが。
「生徒会に入り、初めてのことが多くもちろん苦労もありましたが、たくさんの人とかわかることができ今では全てが思い出です」
—現在は何を？
「田園調布学園大学人間福祉学部共生社会学科に在籍し、教員を目指しています」
—どんな大学生活？
「授業が終わった後にはサークル活動をしたり友達と遊んだりしています」
—今頑張っていることは？
「サッカーのコーチです。今は小学校4年生を教えています」
—外部での活動もされているんですね。やりがいはあるところ？
「日々を重ねて行くうちに子どもたちの成長が早く感じ、嬉しい気持ちになります。子どもたちがサッカーを楽しくやっているのでも私もサッカーをより楽しく教えられようになりたいと頑張っています」



宮田 琉斗

2023年度卒業生（南大師中学校出身）

◆卒業生に聞いてみた ◆後輩への実技指導開始 ◆24年度体験入学・説明会告知

「福祉科って何を学ぶんだろう？」「難しいのかな？」「介護だけをするのかな？」
そんなギモンも解決するような記事をお届けしていきます！

—今後挑戦したいことは。
「私の大学はボランティアが頻繁に行われているので、ボランティアに参加してみたいです」
—どのようなボランティアでしようか。
「子ども食堂のボランティアに挑戦してみたいです。子ども食堂は主に小学生や障害児など幅広い方々と関われるため将来に繋がるいい機会だと思っています」
—充実した大学生活になりそうですね。あらためて福祉科入学のおすすめポイントは？

「資格を持って就職出来る可能性が高いことと大学や専門学校への進学など幅広く高校卒業後を考えることができることです」
—最後に、福祉科を志す中学生にメッセージをお願いします。
「高校受験は人生を決める、大きな壁だと私は思っています。福祉を学びたいと思うみなさんは本当にすごいと思いますし貴重な存在です。ぜひ、市立川崎高校福祉科にきてください」



たくさんの質問項目に真摯に答えてくれた宮田君。本校在学中も、何事にも一生懸命に取り組んでいました。

◆後輩への実技指導開始

毎年、年度当初に行われる先輩から後輩への実技指導。朝と放課後の時間を使って技術の向上を目指します。

○3年生Nさん

「意識したことは、雰囲気が固くならないようにしたことです。3年生同士も会話をしながら、質問しやすい雰囲気を作りました。実技上でミスが多いポイントを絞り、デモを実施した後に2年生にも実践してもらいながら指導を行いました」

○2年生Aさん&Kさん

「主にベッドメイキングを教えていただきました。シーツのしまい方、シワを作らない方法や三角コーナーの作り方など、先生から教えていただいた基礎基本は抑えつつ、先輩たち独自の視点でのコツを知ることが出来、有意義な時間でした」

各回の詳しい内容は
学校HPにて掲載予定

◆24年度体験入学・説明会告知

学校説明会	7月20日（土）	・	11月30日（土）
体験授業	8月24日（土）	・	10月12日（土）
小学生体験授業	8月17日（土）		

11月23日（土）